

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスアニマートしんじょう		公表日		令和8年2月2日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		6	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		6			・基準は満たしているが、1対1で対応しなければいけない利用者さんがいる場合、補助的な職員がいるといい。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6			・手洗い場が、支援室内にあるともっと自主的に手洗いをするようになるのではないかと。業者に確認してもらったが、難しいとのこと。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5	1	・活動に合わせて、テーブル等を寄せ、スペースを広げたりしている。 ・体を動かした活発な遊びができています。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6		・使用する際は1人にはせず、職員が付き添う。クールダウンの場合は、スタッフは見守りを行う。	・個別対応できる場所がもう1部屋あるといい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		5	1		・継続的な業務改善、品質改良を目指していきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6			・今回、ご指摘いただいた点を含め、業務改善策をたて、話し合い実践していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6		・毎日のミーティングで、内容によってはすぐに改善している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			6		・第三者評価の必要性を再度確認、今後の検討事項である。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		6		・学童、放デイ向けの研修会に参加し、他の施設、事業所の職員と交流し、意見交換している。	・外部講師を招いて、全職員対象の専門的な研修を行っている。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6		・現在、アニマートグループのホームページにて開示しているが、法人のホームページが出来たので、そちらでも開示する。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		6			・モニタリング、アセスメントから計画作成を行っている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		6		・ミーティング時に、子どもの様子や保護者の方からのノートを見て、現状を知る。把握した上で、支援にあたる。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6		・計画書は全員が目を通し、会議を行っている。	・できている部分とできていない部分があるため、今後の課題となる。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		6		・最新のアセスメントは、ミーティングノートにも記録している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		6			・家族支援では、主に子どもの様子を伝え合っているが、保護者の方との距離感、感じ方や受け止め方などの違いから誤解を招いてしまうことがあったりと難しい点がある。言葉足らずなところがあったためと反省し、今後の課題としていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		4	2	・常勤職員で行い、話を下ろしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		6		・日々の子どもの様子を見て、遊びの設定をしている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・子どもたちの興味・関心をくみ取り、そこからどのような計画、支援していくか考えている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・支援前に、ミーティングを行い、前日の様子や連絡帳の確認をし、支援に向かっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・その都度、気づいたことは共有している。 ・次の支援へとつなげていけるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・その日の記録は、きちんととっている。 スタッフ共通理解できるよう、後日共有し、支援の検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・相談員も加わり、話し合いをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6		・放課後の時間が充実していけるように、工夫している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・「どうしたらいい?」「どれにする?」などの問いかけをし、自分で決めることができるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		・学校の先生や主治医からアドバイスいただいている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・送迎時に、学校での様子を引き継ぎしてもらい、来所後の支援に役立っている。 ・密に行っている。	・送迎時間の調整、待っている場所など、様々なことを相談させてもらっている。下校時間が違った時の連携が取れていないところがある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			・新1年生に関しては、保育園、幼稚園と情報共有している。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		・必要に応じて、情報を提供している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		・助言、研修が受ける機会があれば、参加したい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		・公園で会ったら一緒に遊ぶことはあるが、それ以外は計画としてない。近くの学童クラブに交流できるか相談したい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6		・参加できる機会があれば、ぜひ参加したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・日々の連絡帳や、面談、電話連絡等行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6	・外部で行われるイベントのポスターなどは、玄関に掲示している。	・当事業所ではできていない。今後、市にも協力いただきながら、ペアプロなどしていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時にしっかりと話している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・面談を行い、説明、保護者の方からの同意をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			・面談や助言、支援へとつながっていないところがある。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		・夏祭りを開催した。保護者、兄弟が参加し、大盛況だった。	・定期的な茶話会の開催、懇親会の開催を検討。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			・迅速な対応を心がけている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・毎月のおたより、SNSを利用した一斉送信などで発信している。	・法人のホームページが出来たので、そちらでの発信もしていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・他事業所の職員との間でも、十分に気を付けている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・視覚での伝達など、それぞれ対応を変えて行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		・今後、検討したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・緊急時のマニュアルは、玄関に掲示している。	・周知はしているが、訓練ができていない。緊急時の引き渡し訓練など、実施を検討している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			・保護者参加型の訓練を検討したい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・通院時に服薬の変更がある場合は、連絡をいただいている。お薬の説明書も提出していただいている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・アレルギー児に対しては、別テーブルでおやつにするなどの対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			・計画を策定、研修会議、点検、計画、見直しなどしていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・大雨（雪）の際に、保護者の方に連絡し、送迎等の対応をしていただいている。 ・屋根からの落雪注意を周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハット案件は、内容を記録し、繰り返し起きないよう、職員で話し合う場を設けている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・動画や他事業所で合った事例をもとに研修したりしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・身体拘束にあたる行為があった場合は、保護者に報告し、承諾を得て記録に残しておく。		